

## 神奈川県筋電義手バンク寄附に係る県知事感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）では、神奈川県（健康医療局県立病院課）が進めている「筋電義手バンク」の趣旨に賛同し、手を欠損した人（特に子ども）が使用する筋電義手の普及を促進する当該事業に300万円寄附しました。これに対し、神奈川県庁舎において県知事から感謝状をいただきました。

1. 日 時	令和4年8月30日(火曜日)
2. 場 所	神奈川県庁
3. 贈 呈 者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 受 贈 者	黒岩祐治 神奈川県知事
5. 贈 呈 品 等	300万円（訓練用筋電義手2台分）

### 6. 概 要

筋電義手とは、手を欠損した方が腕の筋肉が収縮する際に発生する微弱な電流に反応して自分の意志で動かせるという優れた機能を有した義手でこれを利用することで、腕に障害がある方がより豊かな生活を送ることが可能となる。

また、子ども達が早期に訓練を開始することで両手を使った日常的な動作を行うことが可能となり、進学や就職など将来の選択の幅も広がる。

しかし、これを使うためには、ある一定の訓練が必要であり、この訓練義手が1台150万円であり、子どもの成長に合わせて義手のサイズも変わることから、この神奈川県の取組に当組合・当協会も賛同し、筋電義手バンクに多くの支援が集まるように、まずは企業・団体の先駆けとして神奈川県の団体では初となる筋電義手バンクへの寄附を実施した。



実物の筋電義手



左から佐藤専務 伊坂会長、黒岩県知事

